

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 30 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 26 日 作成

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会活動支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践	所属班	啓発教育班	(内線)	2427
				法令根拠			

予算科目	会計	1	款	3	項	1	目	8	事業連番	10879	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	⑥	
														コスト削減優先度評価結果	⑨

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
 人権フェスティバル実行委員会の運営に関し、補助金を交付する事業。

【業務の流れ】  
 人権フェスティバル実行委員会設置要綱の制定、告示。要綱に基づく負担金の支払い事務。

【主な予算費目】 補助金(人権フェスティバル実行委員会補助金)

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	人権フェスティバル実行委員会の運営費に対し負担金を交付。
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)		
人権フェスティバル実行委員会の運営費に対し補助金を交付。		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	回
	→ アイ	会議開催回数
	→ アイ	人権フェスティバル事業決算額
		円
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	人
人権フェスティバル実行委員会	→ アイ	人権フェスティバル実行委員会委員数
		人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	%
人権フェスティバルの適切な運営を図れるようにする。	→ アイ	人権フェスティバルに参加して、アンケートに「よかった」と回答した割合
		%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
人権を尊重する活動に取り組むようになる。	→ アイ	過去1年間で人権教育啓発活動に取り組んだ人の割合
		%

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0
		都道府県支出金	千円	664	450					
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	385	810	1,260	1,030	1,197	1,197	1,197	
	(A) 事業費計	千円	1,049	1,260	1,260	1,030	1,197	1,197	1,197	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	5	3	3	
	延べ業務時間	時間	12	48	48	120	48	48	48	
(B) 人件費計	千円	48	191	191	478	191	191	191	191	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,097	1,451	1,451	1,508	1,388	1,388	1,388	0	
活動指標	回	4	4	4	4	4	4	4	4	目 標 合 計 値 画  22 年 度
	円	1,049	1,080	1,260	1,030	1,197	1,197	1,197		
対象指標	人	31	29	29	29	29	29	29		
	%	70.8	76.2	80	83	85	90	95		
上位成果指標	%	33.4	47.8	34.5		35	36	37		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 一般市民へ広く人権啓発をしていくことが重要であるということで、平成14年度より旧合志町において、実行委員会を組織して人権フェスティバルを開催していた。旧西合志町では平成9年度より町と町教育委員会、町人権教育推進協議会主催で人権フェスティバルを開催していた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 2町合併により、参加対象となる市民の対象人口が増えた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 これからもこの事業を進めていくために内容等について、再検討が必要との意見有。

事務事業名	人権フェスティバル実行委員会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	----------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 人権フェスティバルを開催し、多くの市民に参加してもらうことで、人権意識の高揚を図ることが政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 人権啓発は市が率先して進めていかなければならないものであるから、市が負担金を拠出し、事業を行うのは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ アンケート等の意見も参考にしながら、よりよいフェスティバルを実施できるよう、補助金の有効活用をし、市民の更なる人権意識の向上と差別の解消を目指す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 人権フェスティバルの実施ができなくなり、市民の人権啓発の機会が減る。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はなく統廃合はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減すると実施内容が少なくなり啓発が充実しなくなる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事務の内容的にも、委託等にすれば職員で事務をした方が経費が少なくて済むため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 人権フェスティバルは市民が対象であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、アンケート等の意見も聞きながら、よりよいフェスティバルのための補助金活用を図る。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 市民の人権意識をより高め、差別をなくすため、今後も人権フェスティバルを実施していきたい。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
参加者のアンケート等の意見も参考にしながら、今後の人権フェスティバルをよりよくしていく必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )